

目 次

研究論文	熱応力解析によるAC4C合金T字形状品の鑄造割れ発生位置の予測 山縣 裕, 村瀬一真, 安達 充, 橋 洋志, 小岩井修二	141
	表面張力と酸化被膜の影響を考慮した薄肉平板アルミニウム合金鑄物の 湯流れ解析 久保 順, 森 雄飛, 鈴木進補, 中江秀雄, 久保公雄	148
	NdFeB ストリップキャスト合金薄帯の結晶核の発生と成長に及ぼす ロール表面粗さの影響 山本和彦, 田畑進也, 鬼村拓也	154
現場改善	人工砂導入によるフラン自硬性鑄型鑄造作業の環境改善 滝本哲次	160
随 想	鑄物への思いと人づくりについて 今西寛文	164
インタビュー「鑄物人」	166
シリーズ「海外生活体験レポート」	168
Y F E だより	170
ズバリ回答・・・今さら聞けないこんなこと	171
学生奨励賞授賞者	172
「Materials Transactions」誌への投稿	181
学会関連行事日程／次号予定	182
編集後記	183
鑄造品生産量推移	184
会 告		

表紙の写真



～第88巻表紙シリーズ「鑄物の産地の今」～

表紙の写真：河内鑄物師の里

コメント：「河内鑄物師」は、平安時代から室町時代にかけて、高度な鑄造技術を持ち、鍋・釜などの日用品や梵鐘などの仏具を作っていた技術者の集団です。河内国丹南郡（現在の堺市美原区近辺）あたりを本拠地にして活動していたようです。全国各地の梵鐘なども手掛け、東大寺の大仏再建や鎌倉の大仏の鑄造にも参加しているとのこと。また、この鑄物師たちは地方に移り住み、鑄物の技術を各地に伝えたと言われています。

表紙の写真は、美原区黒山に残る古い町並みです。河内鑄物師が活躍したころの町並みではありませんが、懐かさが感じられます。近くには、鑄物師たちが祭祀した「鍋宮大明神」があり、「日本御鑄物師発祥地」の碑が立っています。また、「みはら歴史博物館」では、鑄造に関する展示がされています。一度訪れてみてはいかがでしょうか。

今月号から各地に残る鑄物のふる里を訪ねます。